

【世田谷区内の感染状況の分析】

- ・ 世田谷区内の感染状況については、PCR陽性率や新規報告数等が、国の指標に基づくステージⅢ（感染者の急増）の基準を下回っているものの、依然として療養者数の数値がステージⅣ（爆発的な感染拡大）の段階にあり、予断を許さない状況にある。
- ・ 新規感染者数については、1月や2月上旬の状況と比べて減少しているものの、2月中旬以降は微減となっており、下げ止まりの状態が続いている。
- ・ 療養者数についても、2月下旬以降は微減に留まっており、依然として医療提供体制のひっ迫が懸念される。
- ・ 区内の感染者の感染源について、家庭内感染の割合が6割を超えており、再び増加傾向となっている。

【今後の対応】

- ・ 2月中旬以降の区内の感染状況は、改善傾向が鈍化しており、今後の歓送迎会やお花見などの季節行事を契機に、再び感染状況が拡大傾向に転じることのないよう、引き続き感染予防策の徹底に向けた注意喚起を行う。
- ・ 引き続き、感染防止対策を徹底した上で、施設運営及びイベント開催を行うこととする。なお、当面の間、マスクなしでの会食による感染拡大の防止を図るため、区民利用施設の飲食を伴う利用を休止する（レストランやカフェを除く）とともに、飲食を伴う区主催イベントも休止とする。
- ・ 社会福祉施設等での感染事例の割合は減少傾向にあるものの、重症化リスクの高い高齢者施設等の利用者への感染を防ぐため、PCR検査（社会的検査）などの感染拡大防止に向けたさらなる取り組みを行う。